



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 株式会社じもとホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7161 URL <https://www.jimoto-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗野 学
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 尾形 毅 (TEL) 022 (722) 0011
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	33,989	16.5	△605	—	△2,044	—
2020年3月期第3四半期	29,158	△7.8	1,414	△37.0	964	△44.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 5,328百万円 (ー%) 2020年3月期第3四半期 △523百万円 (ー%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△122.02	—
2020年3月期第3四半期	46.66	13.05

(注1) 当社は、「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託 (BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(注2) 当社は、2020年10月1日付で普通株式並びにB種優先株式、C種優先株式及びD種優先株式について10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,705,974	115,680	4.2
2020年3月期	2,487,782	111,185	4.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 115,524百万円 2020年3月期 111,020百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計ー期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	2.50	—	1.50	4.00
2021年3月期	—	1.50	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式 (非上場) の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

(注3) 当社は、2020年10月1日付で普通株式並びにB種優先株式、C種優先株式及びD種優先株式について10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2021年3月期 (予想) の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。当該株式併合の影響を考慮しない場合は1円00銭となります。また、年間配当金合計の予想については、単純合算が適切でないため、「—」と表示しております。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	△1,500	—	△3,000	—	△182.60

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注2）当社は、2020年10月1日付で普通株式並びにB種優先株式、C種優先株式及びD種優先株式について10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2021年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。当該株式併合の影響を考慮しない場合の2021年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は△18円26銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期3 Q	17,886,763株	2020年3月期	17,886,763株
2021年3月期3 Q	78,619株	2020年3月期	38,266株
2021年3月期3 Q	17,817,587株	2020年3月期3 Q	17,866,005株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注)

1. 当社は、2020年10月1日付で普通株式並びにB種優先株式、C種優先株式及びD種優先株式について10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。
2. 期末自己株式数には、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式数（2021年3月期3Q32,600株、2020年3月期37,220株）が含まれております。
3. 期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式数（2021年3月期3Q35,052株、2020年3月期3Q19,819株）が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

B種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.01	—	0.01	0.03
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

C種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	1.28	—	1.28	2.57
2021年3月期	—	1.29	—		
2021年3月期 (予想)				12.96	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 当社は、2020年10月1日付で普通株式並びにB種優先株式、C種優先株式及びD種優先株式について10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2021年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。当該株式併合の影響を考慮しない場合は1円29銭となります。また、年間配当金合計の予想については、単純合算が適切でないため、「—」と表示しております。

D種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.01	—	0.01	0.02
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
 (参考)	
2021年3月期 第3四半期決算説明資料	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、経常収益は、貸出金利息、有価証券利息配当金の増加等により資金運用収益が増加したことなどから、前第3四半期連結累計期間比48億30百万円増加の339億89百万円となりました。経常費用は、きらやか銀行における有価証券運用ポートフォリオの見直しにより国債等債券償還損が増加したことなどから、前第3四半期連結累計期間比68億51百万円増加の345億94百万円となりました。その結果、経常損益は、前第3四半期連結累計期間比20億20百万円減少し6億5百万円の損失、親会社株主に帰属する四半期純損益は、前第3四半期連結累計期間比30億9百万円減少し20億44百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、前連結会計年度末比2,181億92百万円増加の2兆7,059億74百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末比44億95百万円増加の1,156億80百万円となりました。

主な勘定残高につきましては、貸出金残高は、中小企業等貸出金が増加したことなどから前連結会計年度末比670億4百万円増加の1兆8,316億12百万円となりました。預金残高（譲渡性預金含む）は、法人預金、個人預金及び公金預金が増加したことなどから前連結会計年度末比2,105億52百万円増加の2兆5,288億11百万円となりました。有価証券残高は、前連結会計年度末比300億20百万円増加の4,853億61百万円となりました。

なお、当社グループの中核的企業である子銀行のうち、株式会社きらやか銀行単体の当四半期末における貸出金残高は前事業年度末比34億32百万円増加し1兆193億54百万円、預金残高（譲渡性預金含む）は前事業年度末比997億5百万円増加し1兆3,209億80百万円となりました。株式会社仙台銀行単体の当四半期末における貸出金残高は前事業年度末比637億52百万円増加し8,152億29百万円、預金残高（譲渡性預金含む）は前事業年度末比1,096億10百万円増加し1兆2,099億65百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月20日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
現金預け金	189,461	309,580
買入金銭債権	951	897
金銭の信託	5,982	6,016
有価証券	455,340	485,361
貸出金	1,764,607	1,831,612
外国為替	227	647
リース債権及びリース投資資産	12,174	12,451
その他資産	30,662	32,865
有形固定資産	23,543	23,562
無形固定資産	946	1,204
退職給付に係る資産	2,516	2,794
繰延税金資産	4,444	2,324
支払承諾見返	6,564	7,119
貸倒引当金	△9,641	△10,462
資産の部合計	2,487,782	2,705,974
負債の部		
預金	2,128,253	2,344,198
譲渡性預金	190,005	184,612
コールマネー及び売渡手形	22,700	14,400
借入金	8,916	28,413
その他負債	17,238	7,455
賞与引当金	326	177
退職給付に係る負債	128	90
睡眠預金払戻損失引当金	493	445
偶発損失引当金	389	328
繰延税金負債	—	1,473
再評価に係る繰延税金負債	1,581	1,579
支払承諾	6,564	7,119
負債の部合計	2,376,596	2,590,293
純資産の部		
資本金	17,000	17,000
資本剰余金	67,124	67,124
利益剰余金	28,536	25,700
自己株式	△48	△85
株主資本合計	112,612	109,739
その他有価証券評価差額金	△4,045	3,257
土地再評価差額金	3,445	3,440
退職給付に係る調整累計額	△991	△913
その他の包括利益累計額合計	△1,592	5,784
非支配株主持分	164	156
純資産の部合計	111,185	115,680
負債及び純資産の部合計	2,487,782	2,705,974

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
経常収益	29,158	33,989
資金運用収益	19,216	21,384
(うち貸出金利息)	16,385	16,789
(うち有価証券利息配当金)	2,700	4,491
役務取引等収益	4,339	4,625
その他業務収益	1,196	3,814
その他経常収益	4,405	4,164
経常費用	27,743	34,594
資金調達費用	391	306
(うち預金利息)	299	235
役務取引等費用	2,853	2,800
その他業務費用	1,136	8,425
営業経費	18,580	17,891
その他経常費用	4,781	5,171
経常利益又は経常損失(△)	1,414	△605
特別利益	12	16
固定資産処分益	12	16
特別損失	195	145
固定資産処分損	28	35
減損損失	167	109
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	1,231	△734
法人税、住民税及び事業税	117	293
法人税等調整額	142	1,026
法人税等合計	260	1,319
四半期純利益又は四半期純損失(△)	971	△2,054
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主 に帰属する四半期純損失(△)	6	△10
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	964	△2,044

(株)じもとホールディングス(7161) 2021年3月期 第3四半期決算短信

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	971	△2,054
その他の包括利益	△1,494	7,383
その他有価証券評価差額金	△1,620	7,304
退職給付に係る調整額	125	78
四半期包括利益	△523	5,328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△533	5,336
非支配株主に係る四半期包括利益	9	△8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(株式給付信託 (BBT))

当社は、当社及び当社子会社である株式会社きらやか銀行並びに株式会社仙台銀行（以下、「当社グループ」という。）の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。以下、「対象役員」という。）に対して業績連動型の株式報酬制度「株式給付信託 (BBT)」を導入しております。

1. 取引の概要

当社が拠出する金銭を原資として、本制度に基づき設定される信託を通じて当社株式を取得します。取得した当社株式は、対象役員に対して、当社グループが定める「役員株式給付規程」に従い受益者要件を満たした者に当社株式等を給付します。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。

当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末46百万円、372千株、当第3四半期連結会計期間末40百万円、32千株であります。

(注)2020年6月24日開催の第8期定時株主総会決議により、2020年10月1日付で普通株式並びにB種優先株式、C種優先株式及びD種優先株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。これにより信託に残存する自社の株式数は293千株減少し、32千株となっております。

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

当第3四半期連結会計期間において、新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う貸倒引当金の追加計上に当たっては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済活動の停滞は翌連結会計年度中にわたり続くものと仮定し、貸倒引当金の見積りに反映しております。具体的には、今後の事業へ一定の影響があるものとした一部の債務者に係る債権について予想損失率に修正を加えて、貸倒引当金の追加計上を行っております。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が依然として続いていることから、当第3四半期連結会計期間において、新型コロナウイルス感染症の収束時期に関する仮定を当連結会計年度中にわたり続くものから翌連結会計年度中にわたり続くものに変更しております。

なお、当該引当金の算定は上記仮定に基づいたものであり、新型コロナウイルス感染症の感染状況やその経済への影響が変化した場合には、当第3四半期連結会計期間後の連結財務諸表において当該引当金は増減する可能性があります。

(資本業務提携契約の締結及び第三者割当による普通株式の発行)

当社は、2020年11月20日開催の取締役会において、SBIホールディングス株式会社との間において資本業務提携契約（以下、「本資本業務提携契約」といいます。）を締結すること、また、本資本業務提携契約に基づき、第三者割当の方法により、SBI地銀ホールディングス株式会社に対して、普通株式（以下、「本普通株式」といいます。）を発行すること（以下、「本第三者割当増資」といいます。）を決議し、同日に本資本業務提携契約を締結いたしました。本第三者割当増資の概要は以下のとおりです。

1. 本普通株式の発行の概要

(1) 払込期間	2020年12月6日～2021年3月31日
	なお、払込みは2021年3月下旬の予定であります。
(2) 発行新株式数	普通株式3,653,500株
(3) 発行価額	1株につき958円
(4) 資金調達の額	
① 払込金額の総額	3,500,053,000円
② 発行諸費用の概算額	70,000,000円
③ 差引手取概算額	3,430,053,000円

(株)じもとホールディングス(7161) 2021年3月期 第3四半期決算短信

(注1) 発行諸費用の概算には、消費税等は含まれておりません。

(注2) 発行費用の概算額の内訳は、主にフィナンシャルアドバイザー費用、登録免許税、弁護士費用、有価証券届出書等の書類作成費用等であります。

- (5) 募集又は割当方法 第三者割当の方法により、下記の者に以下のとおり割り当てる。
SBI地銀ホールディングス株式会社 3,653,500株
なお、資本組入額は1株につき479円、資本組入の総額は、1,750,026,500円あります。

2. 資金の使途

本第三者割当増資により調達する差引手取概算額約34億3千万円につきましては、全額を連結子会社への出資に充当し、株式会社きらやか銀行へは30億円、株式会社仙台銀行へは4億3千万円を出資いたします。連結子会社における具体的な使途につきましては、地元企業への貸出金の追加供給に充当する予定であります。

(参考) 2021年3月期 第3四半期決算説明資料

1. 損益の状況

(1) じもとホールディングス【連結】

2021年3月期第3四半期の連結経常収益は、前年同期比48億30百万円増加の339億89百万円となりました。

また、経常損益は、きらやか銀行における有価証券運用ポートフォリオの見直しにより国債等債券償還損が増加したことなどから、前年同期比20億20百万円減少し6億5百万円の損失、親会社株主に帰属する四半期純損益は、前年同期比30億9百万円減少し20億44百万円の損失となりました。

(単位：百万円)

		2021年3月期 第3四半期 (9カ月間) (A)	2020年3月期 第3四半期 (9カ月間) (B)	増減 (A)-(B)	(参考) 前期 2020年3月期 (12カ月間)
連結経常収益	1	33,989	29,158	4,830	42,354
連結業務粗利益	2	18,292	20,371	△ 2,078	28,003
資金利益	3	21,078	18,825	2,252	25,545
役務取引等利益	4	1,825	1,485	340	2,019
その他業務利益	5	△ 4,611	59	△ 4,671	438
営業経費 (△)	6	17,891	18,580	△ 688	24,779
貸倒償却引当費用 (△)	7	1,386	695	690	1,573
貸出金償却 (△)	8	11	74	△ 62	411
個別貸倒引当金繰入額 (△)	9	67	△ 60	128	△ 460
一般貸倒引当金繰入額 (△)	10	1,126	465	661	946
債権売却損 (△)	11	2	5	△ 2	46
偶発損失引当金繰入額 (△)	12	-	-	-	336
信用保証協会責任共有制度負担金 (△)	13	177	208	△ 31	290
その他 (△)	14	-	1	△ 1	1
貸倒引当金戻入益	15	-	-	-	-
株式等関係損益	16	28	△ 28	56	△ 77
偶発損失引当金戻入益	17	60	2	58	-
持分法による投資損益	18	21	15	6	20
その他損益	19	268	330	△ 61	977
経常利益 (△は経常損失)	20	△ 605	1,414	△ 2,020	2,571
特別損益	21	△ 128	△ 182	53	△ 213
税金等調整前四半期純利益 (△は税金等調整前四半期純損失)	22	△ 734	1,231	△ 1,966	2,358
法人税等合計 (△)	23	1,319	260	1,059	620
法人税、住民税及び事業税 (△)	24	293	117	175	442
法人税等調整額 (△)	25	1,026	142	883	177
四半期純利益 (△は四半期純損失)	26	△ 2,054	971	△ 3,026	1,738
非支配株主に帰属する四半期純利益 (△は非支配株主に帰属する四半期純損失)	27	△ 10	6	△ 16	4
親会社株主に帰属する四半期純利益 (△は親会社株主に帰属する四半期純損失)	28	△ 2,044	964	△ 3,009	1,733

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. (連結) 業務粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用 (※)) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

(※) じもとホールディングス【連結】、2行合算及び子銀行単体の資金調達費用については、金銭の信託運用見合費用を控除しております。

(2) 2行合算

(単位:百万円)

		2021年3月期 第3四半期 (9カ月間) (A)	2020年3月期 第3四半期 (9カ月間) (B)	増 減 (A) - (B)	(参考) 前期 2020年3月期 (12カ月間)
経 常 収 益	1	30,030	25,516	4,514	37,095
業 務 粗 利 益 ①	2	18,236	20,551	△ 2,315	28,236
(コア業務粗利益(①-②))	3	25,373	20,642	4,731	28,764
資 金 利 益	4	21,226	19,220	2,006	25,897
役 務 取 引 等 利 益	5	1,631	1,275	356	1,737
そ の 他 業 務 利 益	6	△ 4,621	56	△ 4,677	601
(うち国債等債券損益)②	7	△ 7,137	△ 90	△ 7,046	△ 528
経費(除く臨時処理分)(△)	8	17,348	17,961	△ 613	23,914
人 件 費(△)	9	8,697	8,935	△ 238	11,827
物 件 費(△)	10	7,219	7,709	△ 489	10,283
税 金(△)	11	1,431	1,316	114	1,802
実 質 業 務 純 益 ③	12	888	2,590	△ 1,701	4,321
コ ア 業 務 純 益 (③-②)	13	8,025	2,681	5,344	4,850
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	14	5,844	1,845	3,998	3,810
一般貸倒引当金繰入額(△)④	15	1,124	167	956	983
業 務 純 益	16	△ 235	2,423	△ 2,658	3,338
臨 時 損 益	17	△ 365	△ 790	424	△ 475
う ち 株 式 等 関 係 損 益	18	30	△ 9	39	△ 156
う ち 不 良 債 権 処 理 額 (△) ⑤	19	292	838	△ 545	589
う ち 貸 倒 引 当 金 戻 入 益 ⑥	20	-	257	△ 257	-
う ち 偶 発 損 失 引 当 金 戻 入 益 ⑦	21	73	-	73	-
う ち 償 却 債 権 取 立 益	22	26	48	△ 21	58
経常利益(△は経常損失)	23	△ 601	1,632	△ 2,234	2,863
特 別 損 益	24	△ 141	△ 218	77	△ 343
税引前四半期純利益(△は税引前四半期純損失)	25	△ 742	1,414	△ 2,157	2,519
法人税、住民税及び事業税(△)	26	249	62	186	336
法 人 税 等 調 整 額 (△)	27	925	168	757	260
四半期純利益(△は四半期純損失)	28	△ 1,917	1,183	△ 3,101	1,923
与信関係費用(④+⑤-⑥-⑦)	29	1,343	709	633	1,534

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 子銀行単体

① きらやか銀行

2021年3月期第3四半期の経常収益は、前年同期比34億76百万円増加の178億50百万円となりました。
銀行本来の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が増加したこと等により、前年同期比42億24百万円増加の59億54百万円となりました。
経常損益は、有価証券運用ポートフォリオの見直しにより国債等債券償還損が増加したこと等により、前年同期比29億33百万円減少の22億16百万円の損失、四半期純損益は、前年同期比37億36百万円減少の31億81百万円の損失となりました。

(単位：百万円)

		2021年3月期 第3四半期 (9カ月間) (A)	2020年3月期 第3四半期 (9カ月間) (B)	増 減 (A) - (B)	(参考) 前期 2020年3月期 (12カ月間)
経常収益	1	17,850	14,374	3,476	20,732
業務粗利益 ①	2	8,398	11,964	△ 3,565	16,919
(コア業務粗利益(①-②))	3	15,523	11,889	3,634	16,979
資金利益	4	12,081	10,797	1,284	14,487
役務取引等利益	5	965	1,009	△ 43	1,379
その他業務利益 (うち国債等債券損益) ②	6	△ 4,648	157	△ 4,806	1,052
	7	△ 7,124	75	△ 7,199	△ 60
経費(除く臨時処理分) (△)	8	9,569	10,159	△ 590	13,518
人件費(△)	9	4,777	4,955	△ 178	6,575
物件費(△)	10	4,074	4,494	△ 420	5,981
税金(△)	11	718	709	8	961
実質業務純益 ③	12	△ 1,170	1,804	△ 2,974	3,400
コア業務純益(③-②)	13	5,954	1,729	4,224	3,461
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	14	3,784	1,331	2,453	3,063
一般貸倒引当金繰入額(△) ④	15	266	167	98	293
業務純益	16	△ 1,436	1,637	△ 3,073	3,107
臨時損益	17	△ 779	△ 919	139	△ 1,428
うち株式等関係損益	18	20	△ 52	72	△ 480
うち不良債権処理額(△) ⑤	19	640	650	△ 10	868
うち貸倒引当金戻入益 ⑥	20	-	-	-	-
うち偶発損失引当金戻入益 ⑦	21	-	-	-	-
うち償却債権取立益	22	20	38	△ 17	46
経常利益(△は経常損失)	23	△ 2,216	717	△ 2,933	1,678
特別損益	24	△ 90	△ 30	△ 60	△ 30
税引前四半期純利益(△は税引前四半期純損失)	25	△ 2,306	687	△ 2,993	1,647
法人税、住民税及び事業税(△)	26	22	22	0	200
法人税等調整額(△)	27	852	110	741	343
四半期純利益(△は四半期純損失)	28	△ 3,181	554	△ 3,736	1,103
与信関係費用(④+⑤-⑥-⑦)	29	906	780	126	1,124

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 2020年3月期第3四半期における与信関係費用には、債権売却益37百万円を含んでおります。

3. 2020年3月期における与信関係費用には、債権売却益37百万円を含んでおります。

②仙台銀行

2021年3月期第3四半期の経常収益は、前年同期比10億38百万円増加の121億79百万円となりました。
銀行本来の収益力を表すコア業務純益は、資金利益や役務取引等利益が増加したことなどから、前年同期比11億19百万円増加の20億71百万円となりました。
経常利益は、前年同期比6億99百万円増加の16億14百万円、四半期純利益は、前年同期比6億34百万円増加の12億64百万円となりました。

(単位：百万円)

		2021年3月期 第3四半期 (9カ月間) (A)	2020年3月期 第3四半期 (9カ月間) (B)	増 減 (A) - (B)	(参考) 前期 2020年3月期 (12カ月間)
経常収益	1	12,179	11,141	1,038	16,362
業務粗利益①	2	9,837	8,587	1,250	11,316
(コア業務粗利益(①-②))	3	9,850	8,753	1,096	11,784
資金利益	4	9,145	8,423	721	11,409
役務取引等利益	5	665	265	400	358
その他業務利益 (うち国債等債券損益)②	6 7	27 △ 12	△ 101 △ 165	128 153	△ 451 △ 467
経費(除く臨時処理分) (△)	8	7,778	7,801	△ 22	10,395
人件費(△)	9	3,920	3,979	△ 59	5,252
物件費(△)	10	3,145	3,214	△ 68	4,302
税金(△)	11	713	607	105	841
実質業務純益③	12	2,059	786	1,273	921
コア業務純益(③-②)	13	2,071	952	1,119	1,389
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	14	2,059	514	1,545	746
一般貸倒引当金繰入額(△)④	15	858	-	858	689
業務純益	16	1,200	786	414	231
臨時損益	17	413	129	284	952
うち株式等関係損益	18	9	43	△ 33	324
うち不良債権処理額(△)⑤	19	△ 347	187	△ 535	△ 279
うち貸倒引当金戻入益⑥	20	-	257	△ 257	-
うち偶発損失引当金戻入益⑦	21	73	-	73	-
うち償却債権取立益	22	5	9	△ 3	12
経常利益(△は経常損失)	23	1,614	915	699	1,184
特別損益	24	△ 50	△ 187	137	△ 312
税引前四半期純利益(△は税引前四半期純損失)	25	1,564	727	836	871
法人税、住民税及び事業税(△)	26	226	40	186	135
法人税等調整額(△)	27	73	57	15	△ 82
四半期純利益(△は四半期純損失)	28	1,264	629	634	819
与信関係費用(④+⑤-⑥-⑦)	29	436	△ 70	507	410

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 2021年3月期第3四半期における与信関係費用には、債権売却益0百万円を含んでおります。

3. 2020年3月期第3四半期における与信関係費用には、債権売却益0百万円を含んでおります。

4. 2020年3月期における与信関係費用には、債権売却益0百万円を含んでおります。

2. 金融再生法開示債権の状況

・きらやか銀行の金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の残高）は、前年同期比31億32百万円増加の186億43百万円となりました。総与信額に占める割合は、前年同期比0.33ポイント上昇の1.78%となりました。

・仙台銀行の金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の残高）は、前年同期比15億36百万円増加の216億66百万円となりました。総与信額に占める割合は、前年同期比0.08ポイント低下の2.63%となりました。

(1) 2行合算

(単位：百万円)

	2020年12月末	2020年3月末比		2020年3月末	2019年12月末
		2020年3月末比	2019年12月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,807	△ 1,167	△ 2,398	3,975	5,205
危険債権	31,737	4,248	5,564	27,488	26,172
要管理債権	5,765	197	1,502	5,567	4,263
(合計)(A)	40,309	3,278	4,668	37,031	35,641
正常債権	1,825,717	67,980	56,370	1,757,736	1,769,346
(総与信額)(B)	1,866,027	71,259	61,039	1,794,767	1,804,987
総与信額に占める割合(A/B)	2.16%	0.10 ^{対前}	0.19 ^{対前}	2.06%	1.97%

(2) きらやか銀行

(単位：百万円)

	2020年12月末	2020年3月末比		2020年3月末	2019年12月末
		2020年3月末比	2019年12月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,773	△ 445	△ 1,335	2,218	3,108
危険債権	14,145	2,663	4,529	11,482	9,616
要管理債権	2,724	△ 56	△ 60	2,781	2,785
(合計)(A)	18,643	2,161	3,132	16,482	15,510
正常債権	1,025,034	3,340	△ 23,737	1,021,693	1,048,771
(総与信額)(B)	1,043,677	5,501	△ 20,604	1,038,175	1,064,282
総与信額に占める割合(A/B)	1.78%	0.20 ^{対前}	0.33 ^{対前}	1.58%	1.45%

(3) 仙台銀行

(単位：百万円)

	2020年12月末	2020年3月末比		2020年3月末	2019年12月末
		2020年3月末比	2019年12月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,034	△ 722	△ 1,062	1,756	2,096
危険債権	17,591	1,585	1,035	16,006	16,556
要管理債権	3,040	254	1,562	2,786	1,477
(合計)(A)	21,666	1,117	1,536	20,548	20,130
正常債権	800,683	64,640	80,107	736,042	720,575
(総与信額)(B)	822,349	65,757	81,643	756,591	740,705
総与信額に占める割合(A/B)	2.63%	△ 0.08 ^{対前}	△ 0.08 ^{対前}	2.71%	2.71%

3. 時価のある有価証券の評価損益

(注) 仙台銀行が保有する有価証券については、企業結合会計に基づくじもとホールディングス連結会計上の簿価と子銀行の簿価が相違するため、じもとホールディングス連結の有価証券評価損益と子銀行の有価証券評価損益の総額の合計は一致いたしません。

(単位：百万円)

		2020年12月末					2020年3月末			2019年12月末		
		評価損益	評価益	評価損	2020年3月末比	2019年12月末比	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
じもとHD (連結)	満期保有目的	△ 46	-	46	△ 46	△ 46	-	-	-	-	-	-
	その他有価証券	4,650	6,096	1,446	9,836	6,118	△ 5,185	3,786	8,972	△ 1,468	6,379	7,848
	株式	111	475	364	252	△ 1,002	△ 141	320	461	1,114	1,631	517
	債券	21	337	315	26	△ 1,139	△ 5	493	498	1,161	1,529	367
	その他	4,517	5,283	765	9,556	8,261	△ 5,039	2,972	8,011	△ 3,743	3,219	6,963
2行合算 (単体)	満期保有目的	△ 112	-	112	△ 60	△ 119	△ 51	28	80	7	66	59
	その他有価証券	4,649	6,101	1,451	9,783	6,105	△ 5,134	3,822	8,956	△ 1,455	6,332	7,788
	株式	41	477	436	227	△ 911	△ 185	344	530	952	1,469	517
	債券	92	342	249	△ 5	△ 1,279	97	516	418	1,372	1,680	308
	その他	4,515	5,281	765	9,562	8,296	△ 5,046	2,961	8,007	△ 3,780	3,182	6,962
きらやか 銀行 (単体)	満期保有目的	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他有価証券	49	690	641	3,659	2,295	△ 3,610	3,006	6,617	△ 2,245	3,350	5,595
	株式	△ 48	237	286	97	101	△ 146	232	378	△ 150	363	514
	債券	131	295	163	△ 68	△ 294	200	409	209	426	625	199
	その他	△ 33	156	190	3,630	2,487	△ 3,664	2,364	6,029	△ 2,521	2,360	4,882
仙台銀行 (単体)	満期保有目的	△ 112	-	112	△ 60	△ 119	△ 51	28	80	7	66	59
	その他有価証券	4,600	5,410	810	6,123	3,810	△ 1,523	815	2,339	789	2,982	2,192
	株式	89	239	149	129	△ 1,012	△ 39	112	151	1,102	1,105	3
	債券	△ 39	46	85	63	△ 985	△ 102	106	209	946	1,054	108
	その他	4,549	5,124	575	5,931	5,808	△ 1,381	596	1,978	△ 1,259	821	2,080

- (注) 1. 「評価損益」は、「満期保有目的の債券」については貸借対照表計上額と時価の差額を計上し、「その他有価証券」については時価評価しておりますので貸借対照表計上額と取得原価の差額を計上しております。
2. 2018年6月期に、きらやか銀行が満期保有目的の有価証券を売却したことに伴い、2020年3月末及び2019年12月末の仙台銀行の満期保有目的の有価証券は、じもとホールディングス連結においてその他有価証券に計上しております。なお、2020年6月期よりじもとホールディングス全体において満期保有目的の有価証券の保有を再開しており、2020年6月期以降に取得した満期保有目的の有価証券は、じもとホールディングス連結において満期保有目的に計上しております。

4. 預金等、預かり資産、貸出金の残高、自己資本比率（国内基準）

(1) 預金等の残高

・きらやか銀行の預金等の残高は、公金預金が減少したものの、個人預金及び法人預金の増加により、前年同期比594億90百万円増加の1兆3,209億80百万円となりました。
 ・仙台銀行の預金等の残高は、個人預金、法人預金及び公金預金が増加したことから、前年同期比1,445億75百万円増加の1兆2,099億65百万円となりました。

(単位：百万円)

		2020年12月末	2020年3月末比	2019年12月末比	2020年3月末	2019年12月末
2行合算	預金等	2,530,946	209,316	204,065	2,321,629	2,326,880
	うち個人預金	1,590,985	84,682	66,876	1,506,302	1,524,108
	うち法人預金	666,624	77,026	103,660	589,598	562,963
	うち公金預金	267,335	48,423	33,914	218,912	233,420
きらやか銀行 (単体)	預金等	1,320,980	99,705	59,490	1,221,274	1,261,490
	うち個人預金	883,169	37,705	26,924	845,464	856,245
	うち法人預金	383,136	25,035	49,687	358,101	333,448
	うち公金預金	51,443	37,069	△ 17,550	14,374	68,994
仙台銀行 (単体)	預金等	1,209,965	109,610	144,575	1,100,355	1,065,390
	うち個人預金	707,815	46,977	39,952	660,838	667,863
	うち法人預金	283,487	51,990	53,973	231,497	229,514
	うち公金預金	215,891	11,354	51,465	204,537	164,426

(注) 預金等には、譲渡性預金を含んでおります。

(2) 預かり資産残高

・きらやか銀行の預かり資産残高は、生命保険等の減少により、前年同期比83億15百万円減少の1,112億9百万円となりました。
 ・仙台銀行の預かり資産残高は、生命保険等の減少により、前年同期比37億76百万円減少の1,016億54百万円となりました。

(単位：百万円)

		2020年12月末	2020年3月末比	2019年12月末比	2020年3月末	2019年12月末
2行合算	預かり資産残高	212,864	△ 6,749	△ 12,091	219,613	224,955
	投資信託	32,138	3,780	△ 1,696	28,358	33,834
	公共債(国債等)	7,293	△ 360	△ 529	7,653	7,823
	生命保険	173,432	△ 10,169	△ 9,865	183,601	183,297
きらやか銀行 (単体)	預かり資産残高	111,209	△ 4,212	△ 8,315	115,422	119,525
	投資信託	22,370	2,596	△ 1,467	19,774	23,838
	公共債(国債等)	1,789	△ 43	△ 134	1,833	1,923
	生命保険	87,050	△ 6,765	△ 6,713	93,815	93,763
仙台銀行 (単体)	預かり資産残高	101,654	△ 2,536	△ 3,776	104,190	105,430
	投資信託	9,768	1,184	△ 228	8,584	9,996
	公共債(国債等)	5,504	△ 316	△ 395	5,820	5,899
	生命保険	86,382	△ 3,404	△ 3,152	89,786	89,534

(3) 貸出金の残高

- ・きらやか銀行の貸出金の残高は、新型コロナウイルス感染症関連の資金需要に対応したこと等から中小企業等貸出金が増加したものの、消費者ローンが減少したこと等から、前年同期比237億19百万円減少の1兆193億54百万円となりました。
- ・仙台銀行の貸出金の残高は、新型コロナウイルス感染症関連の資金需要への対応によって中小企業等貸出金が増加したこと等により、前年同期比783億1百万円増加の8,152億29百万円となりました。

(単位：百万円)

		2020年12月末	2020年3月末比	2019年12月末比	2020年3月末	2019年12月末
2行合算	貸出金	1,834,583	67,184	54,581	1,767,398	1,780,001
	中小企業等貸出金残高	1,543,640	88,309	109,551	1,455,330	1,434,088
	うち消費者ローン	492,324	△ 19,740	△ 12,230	512,065	504,555
	中小企業等貸出金比率	84.14 %	1.80 ^{対前} / _{対前}	3.58 ^{対前} / _{対前}	82.34 %	80.56 %
きらやか銀行 (単体)	貸出金	1,019,354	3,432	△ 23,719	1,015,921	1,043,074
	中小企業等貸出金残高	836,779	14,263	17,817	822,516	818,962
	うち消費者ローン	234,845	△ 34,666	△ 33,571	269,511	268,416
	中小企業等貸出金比率	82.08 %	1.12 ^{対前} / _{対前}	3.57 ^{対前} / _{対前}	80.96 %	78.51 %
仙台銀行 (単体)	貸出金	815,229	63,752	78,301	751,476	736,927
	中小企業等貸出金残高	706,861	74,046	91,734	632,814	615,126
	うち消費者ローン	257,479	14,925	21,340	242,554	236,139
	中小企業等貸出金比率	86.70 %	2.50 ^{対前} / _{対前}	3.23 ^{対前} / _{対前}	84.20 %	83.47 %

(4) 自己資本比率 (国内基準)

- ・じもとHD連結の自己資本比率は、前期末比0.03ポイント低下し、8.04%となりました。
- ・きらやか銀行の自己資本比率は、単体で前期末比0.08ポイント低下し7.93%、連結で前期末比0.07ポイント低下し7.80%となりました。
- ・仙台銀行の自己資本比率は、単体で前期末比0.02ポイント上昇し8.36%、連結で前期末比0.01ポイント上昇し8.36%となりました。

(単位：百万円)

		2020年12月末	2020年3月末比	2019年12月末比	2020年3月末	2019年12月末
じもと HD (連結)	①自己資本比率	8.04%	△ 0.03 ^{ポイント}	△ 0.06 ^{ポイント}	8.07%	8.10%
	②自己資本の額	109,896	△ 2,785	△ 2,135	112,681	112,031
	③リスク・アセット等	1,366,593	△ 28,080	△ 15,023	1,394,673	1,381,617
	④総所要自己資本額	54,663	△ 1,123	△ 600	55,786	55,264
きらやか 銀行 (単体)	①自己資本比率	7.93%	△ 0.08 ^{ポイント}	△ 0.03 ^{ポイント}	8.01%	7.96%
	②自己資本の額	60,298	△ 4,290	△ 3,808	64,589	64,107
	③リスク・アセット等	759,795	△ 46,318	△ 45,455	806,113	805,250
	④総所要自己資本額	30,391	△ 1,852	△ 1,818	32,244	32,210
きらやか 銀行 (連結)	①自己資本比率	7.80%	△ 0.07 ^{ポイント}	△ 0.05 ^{ポイント}	7.87%	7.85%
	②自己資本の額	59,856	△ 4,302	△ 4,019	64,158	63,875
	③リスク・アセット等	767,011	△ 47,787	△ 45,953	814,799	812,965
	④総所要自己資本額	30,680	△ 1,911	△ 1,838	32,591	32,518
仙台銀行 (単体)	①自己資本比率	8.36%	0.02 ^{ポイント}	△ 0.07 ^{ポイント}	8.34%	8.43%
	②自己資本の額	50,475	1,804	2,195	48,670	48,279
	③リスク・アセット等	603,328	20,418	31,278	582,909	572,049
	④総所要自己資本額	24,133	816	1,251	23,316	22,881
仙台銀行 (連結)	①自己資本比率	8.36%	0.01 ^{ポイント}	- ^{ポイント}	8.35%	-%
	②自己資本の額	50,477	1,808	-	48,669	-
	③リスク・アセット等	603,285	20,424	-	582,860	-
	④総所要自己資本額	24,131	816	-	23,314	-

- (注) 1. ① 自己資本比率 = ② 自己資本の額 ÷ ③ リスク・アセット等
 2. ④ 総所要自己資本額 = ③ リスク・アセット等 × 4%